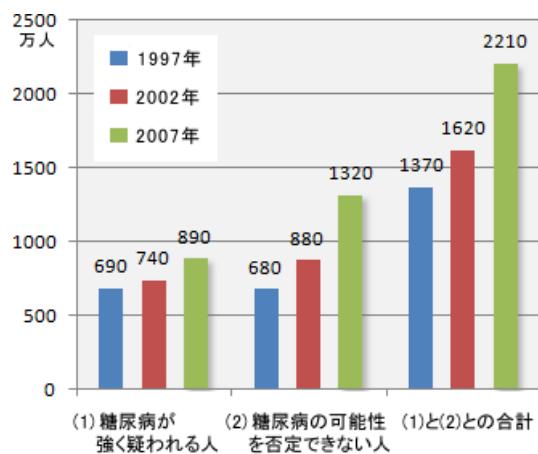


「チームで取り組む糖尿病治療」

管理栄養士 井堀 園美

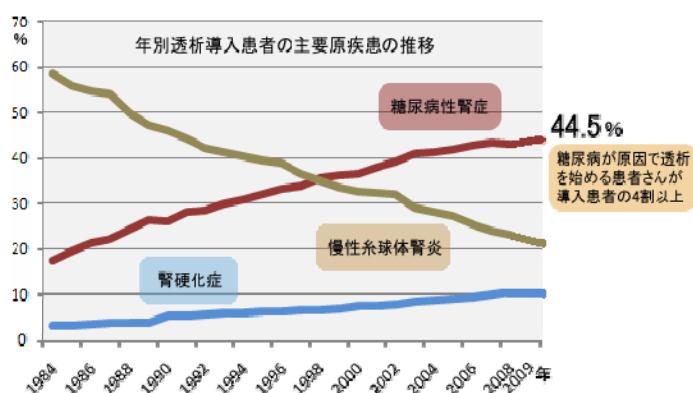
糖尿病は血糖値が慢性的に高くなる病気です。2007年の調査では全国で890万人が糖尿病と診断されています。また糖尿病が強く疑われる人を含めると2,210万人が糖尿病といわれています。

厚生労働省「2007年国民健康・栄養調査」



糖尿病の恐ろしいところは、初期には自覚症状が全くないことです。健康診断などで血糖値が高めだと指摘をされていても自分が糖尿病だと自覚する方は少ないようです。血糖値が高い状態が5年以上続くと、手足がしびれるなどの神経障害、視力低下などの網膜症、腎臓機能が低下する腎症などの合併症が表れます。今問題になっているのは、糖尿病が原因で透析導入を始める人が増えていることです。国内で透析療法を受けている患者さんのうち糖尿病が原因

で透析をしている患者さんは全体の3割以上をしめています。また導入患者さんの透析を始める原因となった疾患の第1位は糖尿病性腎症です。透析は高額な医療費が掛かり、国民の医療費を圧迫しています。



糖尿病を治療する際には①早期診断②早期治療③治療中断の阻止が求められています。①については正しい知識を身に付けていただく各種教室の対応や健診への啓発、②については適切な医師の対応や生活習慣の改善、③については医療チームでのかかりが効果的です。

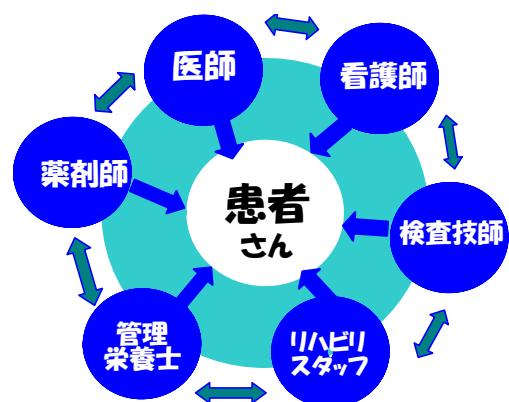
当院では患者を中心、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、検査技師、リハビリテーションスタッフがチームを作り、それぞれの専門分野で糖尿病治療に取り組んでいます。糖尿病の治療は過食や喫煙、運動不足などの生活習慣の改善が重要なポイントです。患者さんが糖尿病を良く理解し、糖尿病と上手に付き合っていく事が大切です。チームスタッフは、患者さんの病気の経過、家族の協力体制、意欲、生活背景、心理的な問題点などを理解するために個別に面談を行っています。じっくり対話

をすることで安心できる人間関係をつくり、信頼関係を築きます。そして患者さんと一緒にになって病気と向き合っていく、そのような思いでお手伝いをしています。チームスタッフが患者さんの悩みや苦しみを理解することにより、患者さんの行動に変化をもたらし治療継続に効果的と言われています。

当院の具体的な取り組みを紹介します。初期の患者さんについては、糖尿病教室を定期的に開催しています。正しい知識を身につけられるよう講義を行なっています。昨年度からは、栄養科主催で調理実習を行い、食事療法を身近に感じられるようにしています。透析予防に関しては、今年度より「透析予防診療チーム」をつくり、早い時期からかかりわり腎症の進行防止に取り組んでいます。また地域の糖尿病診療の連携体制を整えるために茅ヶ崎寒川地区で糖尿病連携パスを作成しました。地域で糖尿病専門医とかかりつけ医、歯科医師や眼科医、医療スタッフが協力して糖尿病患者さんを診ていくシステムができました。栄養指導に関しては、かかりつけ医からの紹介で連携パス栄養指導が可能です。ぜひご利用下さい。

当院では医師、看護師、薬剤師、検査技師、リハビリテーションスタッフ、管理栄養士がそれぞれの専門性を活かし患者さん中心の医療を行なっています。さまざまな情報をチームスタッフ間で共有し、糖尿病患者さんが健康な人と変わらない生活の質が保てるよう日々努めています。

チーム医療



糖尿病連携手帳

